

<第39回調査>

2012年8月27日

### 【本調査の目的】

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは、口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施しておりましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて、遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

### 【調査実施期間】

2012年8月14日(火)13:00～2012年8月21日(火)13:00

※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

### 【調査対象】

(株)外為どっとコムの『外貨ネクスト』に口座を開設のお客様層

### 【調査方法】

(株)外為どっとコムの取引画面内にアンケートを公開。

今回の有効回答数は1724件。

※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

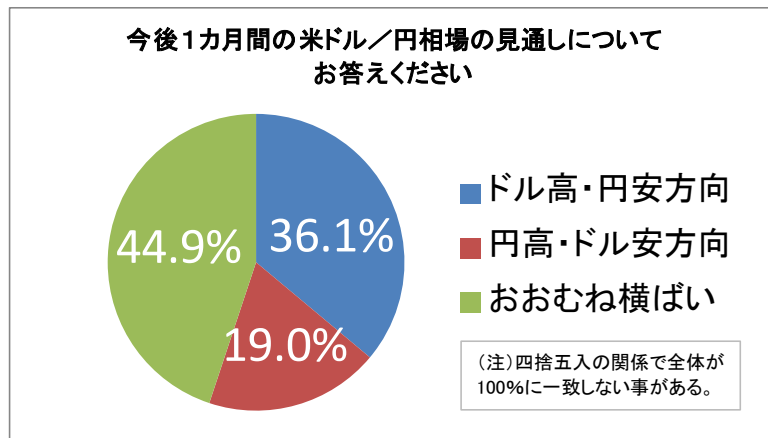
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【第39回調査結果略報：円高への警戒感、和らぐ】

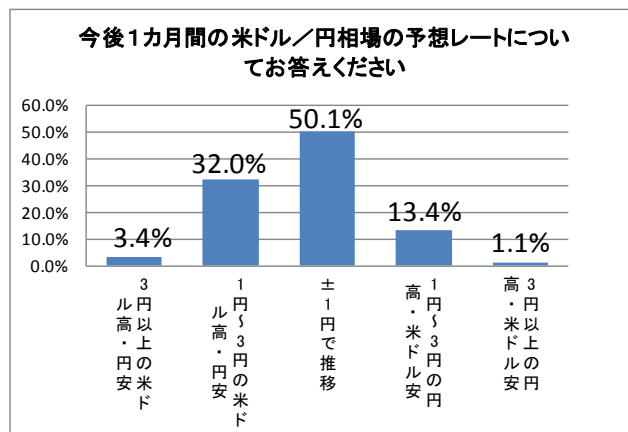
問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のドル円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が36.1%であったのに対し、「円高・ドル安方向」と答えた割合は19.0%となった。この結果「ドル/円予想DI」は+17.1%ポイントとなり、前月の「円強気・ドル弱気予想」優勢の状態から一転して「ドル強気・円弱気予想」優勢となった。調査期間中のドル/円相場は14日安値78.30円から20日にかけて79.66円まで上昇した事から一時期の円高警戒感がある程度和らいだようだ。ただ、予想DI自体はドル高・円安方向に傾いているものの、44.9%もの人は「概ね横ばい」の推移を見込んでおり、多くのFX投資家はドル/円相場に引き続き方向感を見出せないでいるようだ。※過去のドル円予想DIの推移はP8-9に掲載。



問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

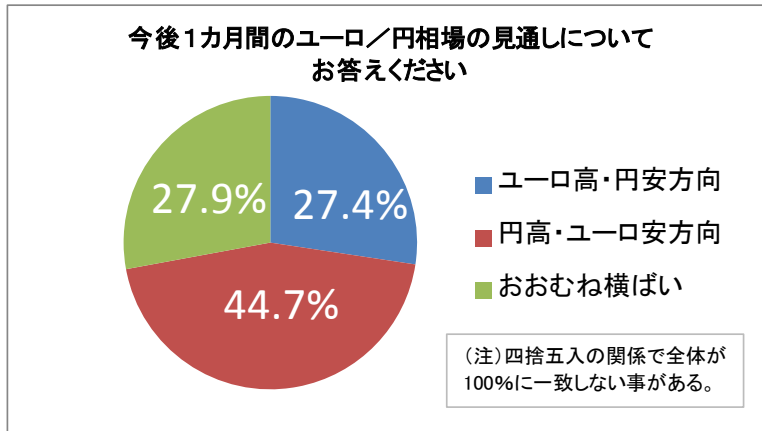
「今後1カ月間のドル/円相場の予想レート」については、「±1円で推移」が50.1%と最も多く、次いで「1円～3円のドル高・円安」が32.0%、「1円～3円の円高・ドル安」が13.4%、「3円以上のドル高・円安」が3.4%、「3円以上の円高・ドル安」が1.1%の順となった。ヒストグラムの形状は「概ね横ばい」の予想が最も多かった問1の回答結果と整合的である。また、ドル高・円安にせよ円高・ドル安にせよ、値動きが3円以内に収まると予想した割合は合算で95.5%にのぼった。8月のドル/円相場は調査期間中が最もよく動いているが、それでも値幅は1.36円程度とかなり狭めであったことで、FX投資家の「ドル/円が大きく動くことに対する期待」は引き続き小さいものと考えられる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

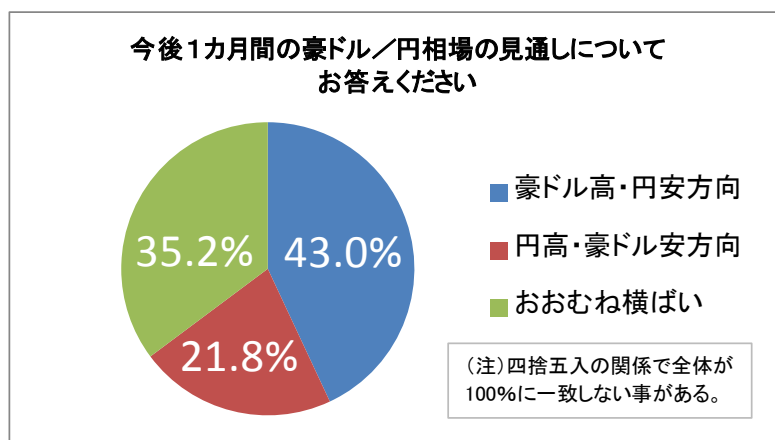
**問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください**

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が27.4%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が44.7%となった。この結果「ユーロ円予想DI」は▲17.3%ポイントとなり、前回調査の▲38.4%ポイントからマイナス幅が縮小した。調査期間中のユーロ/円相場は96.53円から99.18円のレンジで軟調に推移。7月24日につけた11年8カ月ぶりの安値から8月は順調に切り返しており、FX投資家の円高への警戒感が薄れた反動がDIにも影響を及ぼしたものと考えられる。※過去のユーロ円予想DIの推移はP8-9に掲載。



**問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください**

「今後1カ月間の豪ドル/円相場見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が43.0%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は21.8%となった。この結果「豪ドル/円予想DI」は+21.2%ポイントとなり、前月(+7.9%ポイント)よりさらに「円弱気・豪ドル強気」予想をする向きが増えた。豪ドル/円は8月に入り、上旬こそ上昇したものの、その後は83円を挟んで方向感に乏しい状態が続いた。それにも関わらず「豪ドル強気・円弱気予想」が増えたのは、一般的な円高警戒感が弱まった面が大きかったものと見られる。※過去の豪ドル円予想DIの推移はP8-9に掲載。

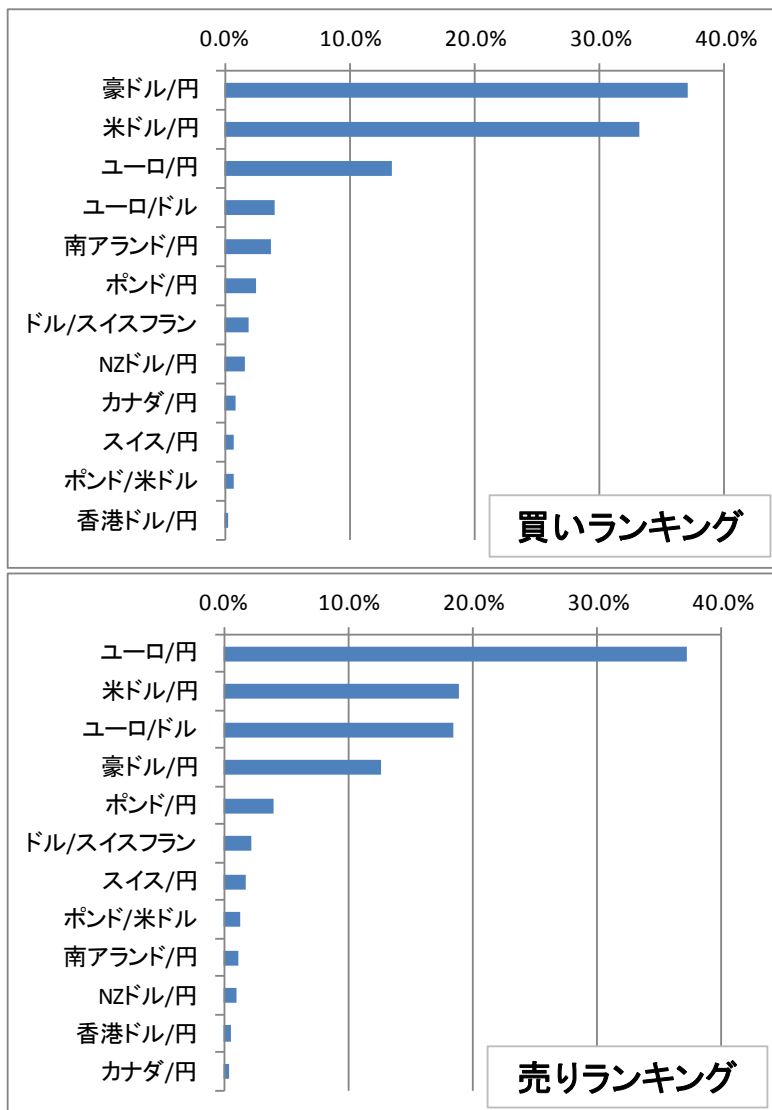


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目されている通貨ペアは、1位豪ドル/円(37.1%)、2位ドル/円(33.1%)、3位ユーロ/円(13.5%)、4位ユーロ/ドル(3.9%)となった。一方、「売り」で注目されている通貨ペアは、1位ユーロ/円(37.2%)、2位ドル/円(18.9%)、3位ユーロ/ドル(18.4%)、4位豪ドル/円(12.6%)となった。「買い」で注目の通貨ペアについては、1位から4位まで順位が前月から全く変わらなかった一方、「売り」で注目の通貨ペアについては前回2位のユーロ/ドルと前回3位だったドル/円の順位が入れ替わった。ただ、回答割合としては2位と3位の差はほとんどなかったと言える。8月は夏休みで、調査期間中は一番値が動いたと言っても、例月に比べれば値幅は狭いと言わざるを得ない。手控えムードが強い中で普段と違う通貨ペアをみるインセンティブも低く、先月と大差ない結果に終わった可能性がある。

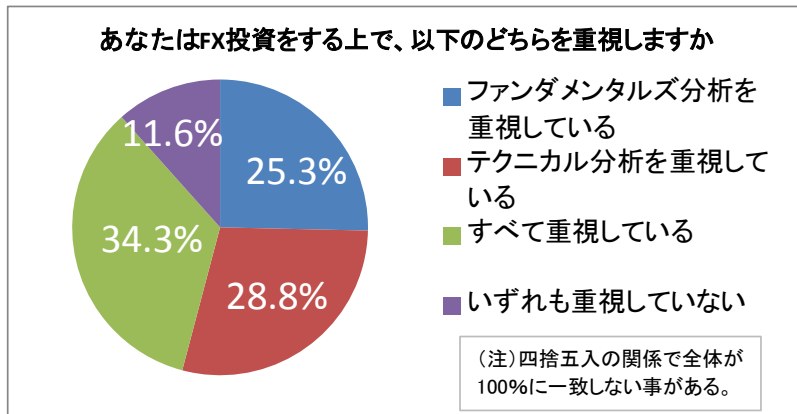


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

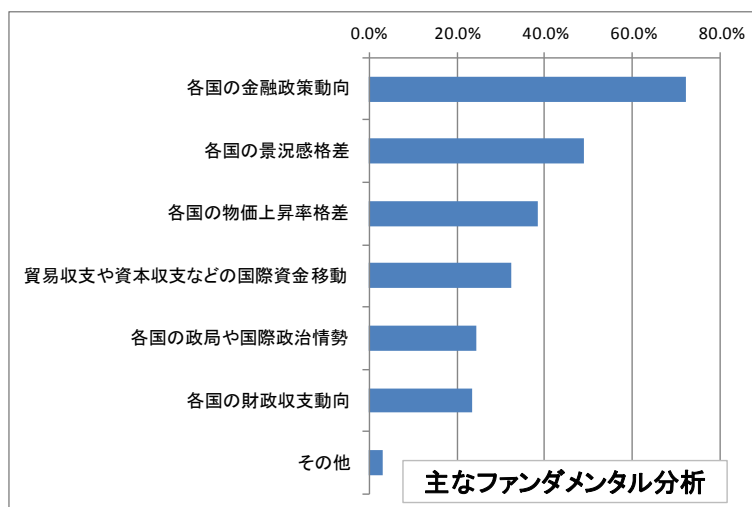
**問6: あなたはFX投資をする上で、以下のどちらを重視しますか?**

「FX投資の際に重視する分析手法」については、「ファンダメンタルズ分析を重視する」と答えた割合が25.3%であったのに対し「テクニカル分析を重視する」と答えた割合が28.8%という結果となった。また「すべて重視している」と答えた割合が34.3%と引き続き最も多く、「いずれも重視していない」は11.6%であった。調査開始以来、この回答割合に目立った変化は見られない。足元では、欧州債務問題に絡んでユーロ円やユーロドルが乱高下する場面が度々見られるが、FX投資家の相場分析スタイルはこうした相場環境などには左右されにくいようだ。



**問7: ファンダメンタルズ分析では何を主に活用していますか? (いくつでも)**

「ファンダメンタルズ分析で主として活用する相場変動要因」について複数回答可として尋ねたところ、「各国の金融政策動向(72.0%)」と答えた割合が最も多く、「各国の景況感格差(48.8%)」、「各国の物価上昇率格差(38.3%)」、「貿易や資本収支等国際資金移動(32.2%)」、「各国の政局や国際政治情勢(24.5%)」、「各国の財政収支動向(23.5%)」、の順に続いた。今回も「各国の金融政策動向」が他を大きく引き離して7割を超える回答割合となった。8月は金融政策を変更する主要国がなかったせいか、「金融政策動向」の回答割合は前月(79.2%)から低下しているものの、割合としては引き続き高い水準を維持している。

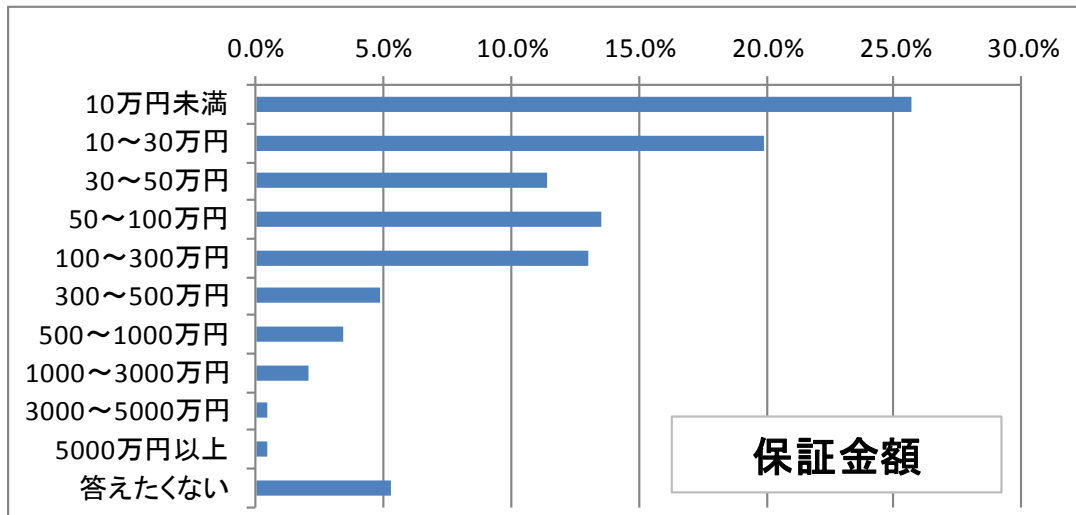


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

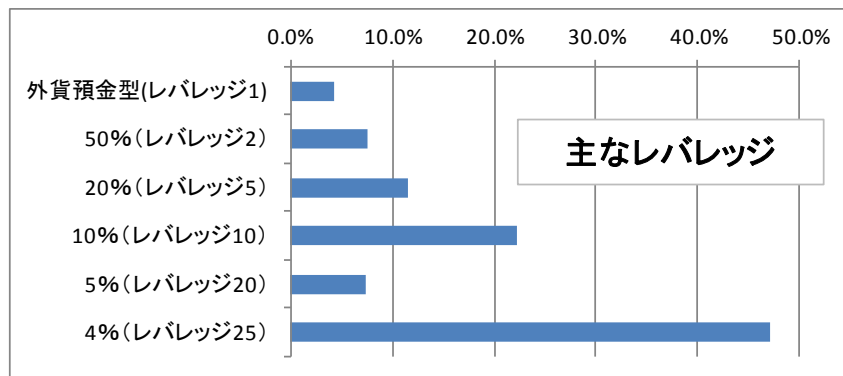
問8:FX取引の際の取引保証金の額についてお答えください(ひとつだけ)

「FX取引の際の保証金の額」について尋ねたところ、「10万円未満」と答えた割合が25.7%と最も多く、以下「10～30万円(19.9%)」、「50～100万円(13.5%)」、「100～300万円(13.0%)」、「30～50万円(11.4%)」、と続いた。約7割ものFX投資家(合算割合で70.5%)が100万円以下の保証金で取引を行っている状況に先月から変わりはない。また、500万円以上の保証金額を置いている層も合計6.4%程度と、前月(8.8%)から目立って大きな変化はなかった。



問9:FX投資の際、主に何倍のレバレッジを活用していますか？(ひとつだけ)

「FX投資の際に主として活用している保証金率(レバレッジ)」について尋ねたところ、「4%(レバレッジ25)」と答えた割合が47.0%と最も多く、「10%(レバレッジ10)」が22.2%、「5%(レバレッジ20)」が11.6%と続き、以下、「50%(レバレッジ2)」が7.6%、「20%(レバレッジ5)」が7.3%となった。FXの最大の特徴のひとつである高レバレッジを活かして取引する個人投資家が半数近くを占めており、その投資意欲の高さが窺える。なお、今回調査におけるFX投資家が主に活用するレバレッジの平均は16.2倍であり、昨年8月のレバレッジ規制以降は、概ね15-16倍前後で推移している。

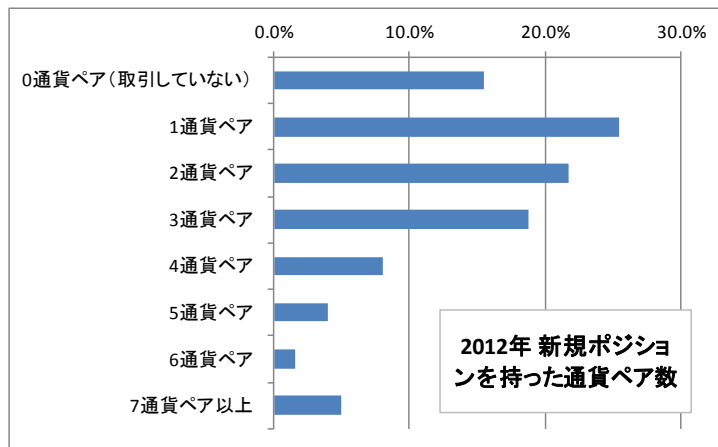


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

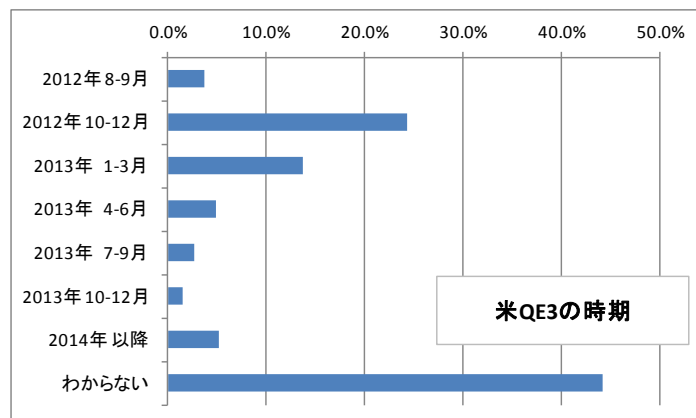
問10: 2012年1月からこれまで、新規注文をしポジションを持った通貨ペアについて、その数をお答えください(ひとつだけ)。またコメント欄に、取引した通貨ペアを取引回数が多い順に記載してください。

今月の特別質問項目として、今年に新規ポジションを持った通貨ペアの数を尋ねたところ、最も多いのが1通貨ペア(25.5%)となり、以下、2通貨ペア(21.8%)、3通貨ペア(18.8%)が続いた。6割以上のFX投資家は取引する通貨ペアの数を3通貨ペア以下に絞っているようだ。それ以上の通貨ペアを取引している割合は18.6%に留まっている。また、取引を行う通貨ペアとしては、「豪ドル/円」をメインとする回答割合が最も高く、ドル/円やユーロ/円、ユーロ/ドルなどがそれに続く形となった。



問11: アメリカで量的金融緩和 第3弾(QE3)はいつ行われると思われますか(ひとつだけ)

今月のもう一つの特別質問項目として、アメリカの量的緩和第3弾(QE3)の導入時期について尋ねたところ、圧倒的なのは「わからない(44.2%)」だったが、その次に多かったのは「2012年10-12月(24.3%)」と、今年の終盤に実施されると考えるFX投資家が目立った。この調査を開始する前に発表された米7月雇用統計が市場予想よりも良好な結果だったことで、それまで期待が高かった「9月QE3導入」観測が後退し、その後の米連邦公開市場委員会(FOMC)まで持ち越されるとの見方が強まった模様だ。とはいえ、年内のQE3を見込む向きが大勢を占めることもまた確認できる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第39回目となりました。調査開始から3年以上が経過し、前月との対比での時系列比較だけでなく、前年同期との比較も可能になってきました。今後についても、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較等から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などの把握を進めていきたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年年初以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

|       |     | 米ドル/円 |      |       | ユーロ/円 |      |       | 豪ドル/円 |      |       |
|-------|-----|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|       |     | 米ドル高  | 米ドル安 | DI    | ユーロ高  | ユーロ安 | DI    | 豪ドル高  | 豪ドル安 | DI    |
| 2010年 | 9月  | 22.3  | 43.9 | -21.6 | 36.7  | 35.8 | 0.9   | 47.8  | 22.5 | 25.3  |
|       | 10月 | 37.3  | 37.7 | -0.4  | 29.3  | 37.3 | -8.0  | 38.9  | 25.8 | 13.1  |
|       | 11月 | 57.4  | 17.0 | 40.4  | 28.2  | 34.6 | -6.4  | 48.0  | 17.0 | 31.0  |
|       | 12月 | 42.9  | 19.2 | 23.7  | 19.2  | 48.7 | -29.5 | 44.0  | 17.4 | 26.6  |
| 2011年 | 1月  | 33.0  | 23.7 | 9.3   | 31.8  | 38.2 | -6.4  | 37.3  | 24.8 | 12.5  |
|       | 2月  | 53.2  | 13.0 | 40.2  | 33.6  | 26.6 | 7.0   | 54.8  | 14.8 | 40.0  |
|       | 3月  | 38.7  | 43.9 | -5.2  | 35.1  | 40.2 | -5.1  | 37.7  | 40.4 | -2.7  |
|       | 4月  | 48.2  | 20.7 | 27.5  | 43.8  | 30.7 | 13.1  | 51.0  | 20.0 | 31.0  |
|       | 5月  | 44.3  | 16.3 | 28.0  | 29.4  | 42.3 | -12.9 | 47.7  | 19.0 | 28.7  |
|       | 6月  | 33.4  | 22.1 | 11.3  | 25.2  | 44.3 | -19.1 | 41.2  | 22.6 | 18.6  |
|       | 7月  | 29.4  | 38.7 | -9.3  | 22.3  | 55.3 | -33.0 | 36.2  | 29.4 | 6.8   |
|       | 8月  | 18.1  | 45.3 | -27.2 | 20.8  | 47.4 | -26.6 | 36.3  | 31.3 | 5.0   |
|       | 9月  | 23.9  | 27.9 | -4.0  | 21.0  | 58.5 | -37.5 | 36.4  | 31.7 | 4.7   |
|       | 10月 | 26.3  | 21.0 | 5.3   | 19.4  | 61.5 | -42.1 | 40.0  | 35.0 | 5.0   |
|       | 11月 | 14.5  | 48.5 | -34.0 | 12.1  | 71.6 | -59.5 | 26.3  | 44.9 | -18.6 |
|       | 12月 | 30.2  | 18.0 | 12.2  | 13.5  | 64.6 | -51.1 | 27.1  | 41.3 | -14.2 |
| 2012年 | 1月  | 25.0  | 22.1 | 2.9   | 17.9  | 65.9 | -48.0 | 40.5  | 24.7 | 15.8  |
|       | 2月  | 57.4  | 14.5 | 42.9  | 36.1  | 37.6 | -1.5  | 59.1  | 17.8 | 41.3  |
|       | 3月  | 67.0  | 12.5 | 54.5  | 43.4  | 23.7 | 19.7  | 52.5  | 17.7 | 34.8  |
|       | 4月  | 45.1  | 20.5 | 24.6  | 29.8  | 41.3 | -11.5 | 40.8  | 26.7 | 14.1  |
|       | 5月  | 25.9  | 36.5 | -10.6 | 11.7  | 71.5 | -59.8 | 21.2  | 56.0 | -34.8 |
|       | 6月  | 30.9  | 28.8 | 2.1   | 27.3  | 54.1 | -26.8 | 41.0  | 31.8 | 9.2   |
|       | 7月  | 18.4  | 33.9 | -15.5 | 19.7  | 58.1 | -38.4 | 36.6  | 28.7 | 7.9   |
|       | 8月  | 36.1  | 19.0 | 17.1  | 27.4  | 44.7 | -17.3 | 43.0  | 21.8 | 21.2  |

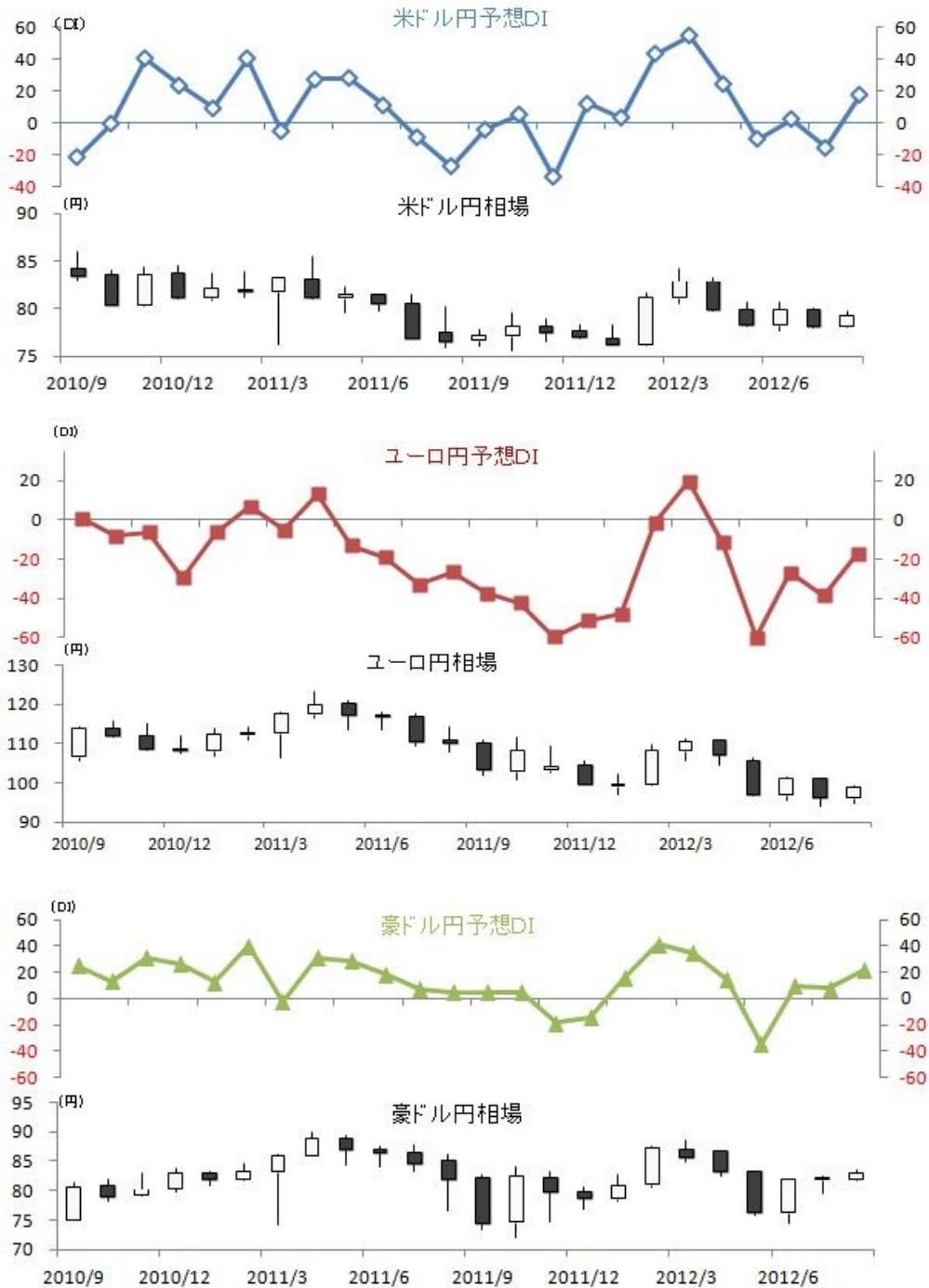
(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



【付表：主要3通貨ペア予想DIと月足の推移】



(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。

Copyright©2012 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com